

卒業論文題目一覧

■人間学コース

(哲学・倫理学分野)

- ・世界と自己の直接的な経験における聴くことの有効性
- ・他者の「顔」の倫理
- ・ウイトゲンシュタイン 生の哲学
- ・哲学における「人生の意味」－我々はどのようにして人生に意味を見出せるのか－
- ・「ケアする人」をケアする社会の構想
- ・認知症患者における事前指示の有効性－人格同一性についての考察か－
- ・音楽芸術美とは何か
- ・「私」はどこからきてどこにいくのだろうか
- ・自由の押し付けによる「息苦しさ」－現代リベラリズムの再考察－

(社会学分野)

- ・若者の装いにおける自己表現－身体との関わりに着目して－
- ・地域社会とアニメツーリズムの課題－沼津市の事例から－
- ・同性カップルの同棲における問題と意思決定－同性カップルへのインタビューをもとに－
- ・住宅セーフティネット制度は居住の選択肢を拓けるのか
- ・夫婦の家事遂行の規定要因に関する国際比較－SSPデータを使用して－
- ・『虎に翼』から見る働く女性と家族－質的分析をもとに－
- ・高校生の地域移動選択とジェンダー－静岡県の高中生調査から－
- ・流行漫画からみる若者
- ・同性アイドルを「推す」ということ－ファンの語りに着目して－
- ・Twitterにおける政治文化の探求
- ・里親家庭の実子について－里親・実子双方へのインタビューから－
- ・地域社会における防災と在留外国人に関する研究－「災害弱者」から「共助者」としての可能性－
- ・子どもの非認知的能力と「育ち」－ベネッセ教育総合所「子どもの生活と学びに関する調査」の計量分析から－
- ・大学生における人間関係の形－身分意識と他者評価－

(文化人類学分野)

- ・ 勝つために鍛え続ける－ボディビルに熱中する中高年女性の事例から－
- ・ 開放された身体－アルティメットのセルフジャッジに着目して－
- ・ 未来のための「仕事」と「学び」－静大東南アジア留学生のキャリア形成を例に－
- ・ “管理されていない”海に潜る－静岡市三保に集うダイバーの事例から－
- ・ 食の移動が生み出す縁－非店舗型飲食店の営みを事例に－
- ・ ミニシアターに魅了される人たち－静岡シネ・ギャラリーを事例に－
- ・ 制限の中で収集を続ける－オタクを自覚する若者を事例に－
- ・ 静大で求道すること－弓道部における身体化と脱身体化を事例に－

■心理学コース

- ・ 独り言の多様な機能の探索的研究
- ・ 意味づけの異なる儀式がパフォーマンスに与える効果の検討
- ・ 大学生の友人関係における気遣いと自己開示の関連
- ・ 多拠点生活者の人間関係と孤独感に関する質的分析
- ・ 自己注目と批判的思考が抑うつに与える影響－反芻と省察の差異に着目して－
- ・ 関係流動性と居場所感の関連－自己開示の媒介効果に焦点を当てて－
- ・ アドバイス表現と送り手の負担感および受け手の行動改善意欲との関連
- ・ 疑似科学信奉における個人特性の検討－科学に対する認識論的信念に焦点を当てて－
- ・ 生活空間の散らかりに対する感情的評価と片付け行動および散らかりの関連
- ・ 「かわいい感情」を喚起する色が対人認知に与える影響
- ・ 機能不全的ユーモアは受け手にストレスを与えるか
- ・ 大学生における共感性と過剰適応の関連

■歴史学・考古学コース

(日本史分野)

- ・ 「国造軍」の構造と運用
- ・ 新聞から見る近代静岡の賭博の実態
- ・ 日本の鉄道導入期における諸構想
- ・ 東大寺領蒲御厨における公文の動向
- ・ 豊臣期武家官位制の構造と公武関係
- ・ 今川義元の富士上方支配－大名・国衆・寺社の関係をめぐって－
- ・ 軍縮期における海軍広報活動－軍艦等の見学を中心に－
- ・ 宝暦期における津軽藩政の再検討
- ・ 江戸山王祭における帯刀規制

- ・近世女性の旅日記と教養－駿遠地方の旅日記を比較して－

(世界史分野)

- ・19世紀後半のアジア交易圏におけるシティ経済の位置づけについて－上海でのジャーディン・マセソン商会の活動から－
- ・ウル第三王朝時代におけるラガシュへの王権の浸透
- ・15－16世紀スペインにおける異端審問制度の実態と地域差
- ・第二次世界大戦におけるイギリスのプロパガンダ
- ・19世紀ドイツにおける自由主義勢力とドイツ帝国の成立－地域からのドイツ統一論－
- ・日中戦争時における上海経済と対日協力者の動向－袁愈侏の経済工作－

(考古学分野)

- ・古墳時代の長野県における石製模造品の展開
- ・古代東海道における奈良三銭の流通－伊賀国から伊豆国を軸に－